

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 氷見市立朝日丘小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒935-0023
富山県氷見市朝日丘3-1
 E-mail : asahigaoka@ed.city.himi.toyama.jp
 Website : http://www.city.himi.toyama.jp/~60010/
 児童生徒数：男子134名 女子136名 合計270名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

① 節電を通してエネルギーについて考える（総合的な学習の時間）

総合的な学習の時間に、「とやま環境チャレンジ 10」に取り組んだ。これは、10歳の4年生が、10項目の環境に優しい取組を家族と相談して選択し、10週間行うというものである。子どもたちは、様々な節電にも取り組み始めた。「ぼくの家では、みんなが同じ部屋にいるようにしているよ。」というように、意欲的な声が聞かれた。

しかし、時間の経過とともに、節電が面倒になってきたり、忘れてしまったりする子どもも出てきた。そこで、社会科の時間に、「家庭で使う電気を減らすことができるだろうか」という学習課題で、話し合いを行った。そのときに新たに提示した資料が、「県別電気使用量」である。これは、県別の家庭における電気の使用量を色で塗り分けた日本地図である。子どもたちは、「富山県民は真面目な県民である」というイメージをもっている。自分たちが様々な節電に取り組んでいることから、電気の使用量は少ないと考えた。ところが、富山県の一人当たりの電気使用量は日本で最も多く、全国平均の1.5倍で、最も少ない長崎県の2倍も使っている。節電に取り組んでいるイメージがあるにも関わらず、一人当たりの電気の使用量が多いことは、子どもたちの考えを揺さぶることができた。そして、節電を自分ごととして捉え、気持ちを新たにし、節電に取り組む姿が見られた。

② ビオトープづくりを通して環境について考える（総合的な学習の時間）

総合的な学習の時間に、学校にできたビオトープにどんな生き物が棲めばよいのかということについて考える学習を行った。「こんな生き物がいてほしいな」という一人一人の願いとともに、「池のサイズ」「生き物が育つ環境」「食物連鎖」等についても考えていかなければならない。このようなとき、ビオトープだけを見ていては、「大きな水槽」という捉え方になってしまうおそれもある。そこで、地域にある池を中心に、自然観察を行い、ビオトープと比べながら考えていくようにした。

まず、校区の上日寺にある行田池に、自然観察に行った。行田池は、周辺農地の農業用水の水源として長い間利用されてきたが、長年の土砂の堆積や漏水により機能が低下したため、平成6年に「ふるさと水環境整備事業」の一環として修復工事が行われたものである。行田池では、多くのメダカを採取させていただいた。また、昆虫を捕まえた子どももいた。それらは、学校のビオトープに放すことにした。

後日、それらの生き物が棲む環境はどのようなものであればよいのかについて考えたり、他の生き物との共存を考えたりするため、十二町潟水郷公園の池も観察した。そこには、タニシやカエル、魚等が多く棲んでおり、自然界には多様な生物が生息しているという認識を深めることができた。

このように、子どもたちは、自然池とビオトープを常に比較しながら観察したり話し合ったりすることで、生き物が棲む自然環境を考えたり、生き物の共存という視点をもったりすることができた。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）